

性暴力のない世界へ

ブリッジング・プロジェクト

障がい児者は健常者と比較して、性暴力に遭うリスクが高いことが、海外の調査で明らかになっています。例えばカナダの調査では、女性障害者は健常女性と比べて、性暴力に遭った人の割合が、3倍高くなっていました。

しかし日本では、公的調査は行われておらず、実態が把握

～Bridging the Gap～

されていません。このため、相談窓口も整備されていません。

そこでしあわせなみだでは、この取り組みを一層盛り上げ、賛同者を増やし、社会を動かすムーブメントを起こすために、「ブリッジング・プロジェクト～Bridging the Gap～」と名付け、様々な活動を展開しています。



●ブリッジング・プロジェクトの取り組み

1 障がい児者への性暴力調査

調査を実施した発達障害者32名中23名が、何らかの性暴力を経験していました。



2 署名

刑法に「性犯罪被害者としての障がい者」の概念を盛り込むことを求めるオンライン署名を立ち上げました。



3 国会議員への働きかけ

2019年末までに60名の国会議員と面会し、障がい児者への性暴力の現状を届けてきました。



ロビイング/自民党



ロビイング/国民民主党



ロビイング/公明党

4 全国キャンペーン

障がい児者への性暴力の現状を多くの方に届けるために、2019年4月から2020年3月にかけて、全国10か所で、知的障がい者への性暴力を取り上げた映画「くちづけ」上映と、有識者によるトークセッションを開催しています。



〔クラウドファンディング協力者〕（順不同）

一般社団法人あおい福祉AI研究所様/株式会社Lib様/株式会社wafactory様/PC文字通訳者会ubiquitous様/柏崎克實様/下田佳様/玉田勇様/のぞみ様/福田亮一様/ふじパンパ様